

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内)
	地域まちづくりルール	青葉区 東急若草台分譲地	平成29年	横浜市まちづくりコーディネーターとして、建築協定隣接地への参加働きかけや将来のまちづくりルールのあり方についての検討を支援 ・協定隣接地への働きかけ、将来のルールのあり方（地区計画の導入等）やルールの区域拡大について、想定される対応の選択肢、可能性や実現に向けた課題などについて助言・指導
	建築協定	戸塚区 郷和台地区	平成16年 ～17年	横浜市まちづくりコーディネーターとして、期限切れの迫った建築協定の再締結に向けた住民（協定運営委員会）の活動を支援 ・新たな協定内容の検討、アンケートの作成、説明会の開催運営、まちづくりニュースの発行、合意形成などについて助言・指導 ⇒郷和台：平成17年7月 建築協定の認可公告 ⇒パークヒル：平成17年3月 建築協定の認可公告
		港南区 パークヒル上大岡		
	その他地域のまちづくり計画：一団地の住宅施設	磯子区 汐見台団地	平成30年 ～31年	横浜市まちづくりコーディネーターとして、円滑な建替えの障害となっている「一団地の住宅施設」の都市計画（面積72ha）に関して、その課題解決のための新たなルールづくりなどの方策について検討する地元まちづくり委員会の活動を支援 ・多様な年齢層からの意見聴取、将来ビジョンの検討、委員会の目標と進め方手順などについて助言
	防災まちづくり	中野区 弥生町地区	平成24年 ～25年	専門技術職員の立場で、地域住民との協働により、木造住宅密集地域における建物の不燃化促進、狭あい道路の拡幅、避難路の確保など災害に強いまちを実現するためのプラン作成、アンケート実施、意見交換会開催、住民協議会運営、ワークショップ運営、合意形成などを責任者として担当 ⇒両地区とも地区計画を決定し、防災まちづくり事業を実施中
中野区 大和町地区		平成24年 ～26年		

自身の考えるコーディネーターの役割とまちづくりのポイント（500文字以内）

○コーディネーターの役割

- ・コーディネーターの役割は、地域住民によるまちづくり活動に対して、専門的な知見・経験に基づいて適切に助言・指導を行うことだと考えます。
- ・そのため、コーディネーターには、まちづくりや都市づくりなどについて十分な実務経験、スキルを有し、地域の実情や直面する課題を的確に整理し対応のあり方を助言できることや、それらを住民にわかりやすく説明し、理解を深めてもらい、多くの住民を啓発できるコミュニケーション力を発揮することが求められます。
- ・具体的には、勉強会でわかりやすい解説を提供し、まち歩き、アンケート実施、意見交換会開催、まちづくりニュース発行、地域のまちづくり機運醸成、合意形成などの進め方に対する的確な助言、提案を行うことが必要です。

○まちづくりのポイント

- ・住民など関係者の合意形成、総意としての賛同が不可欠です。発意した方々の高い理想を最優先にして先走らず、みんなが納得できるゴールを目指すようにしましょう。
- ・住民意向を把握し、意見交換会やまちづくりニュースでまちづくりの意義や効果を周知することなどを通じて、より多くの住民とまちづくりへの思いを共有することが大事です。